

浜名湖と長篠合戦の設楽原を一望にする県境稜線

雨生山ふしぎ発見コース

南に浜名湖や三ヶ日のミカン畑、東には金山の稜線や富幕山など広々とした眺望が望めます。
蛇紋岩によって作り出された木々の不思議な光景を探しに行こう!



浜名湖方面の眺望
宇利峠からの浜名湖の眺めです。浜名湖や、三ヶ日のミカン畑、北に天下を分けた長篠の合戦の舞台になった設楽原とワイドな眺望を望めます。春はミカン畑に白い花が咲き、秋にはオレンジ色に染まります。



雨生山全景
雨生山は愛知・静岡県境に連なる弓張山系の南部に位置する山です。東名高速道路を東に向かい、豊川ICを過ぎた辺りから前方に見えてきます。



奥三河方面の眺望
北に本宮山、雁峰山、鳳来寺山から奥三河の山々がよく見えます。

コース概要

- 所要時間 / 3時間50分
- 距離[水平] / 7.5km
- 標高[山頂] / 313m
- レベル / ★★☆☆☆
家族・一般向け

※初中級者向け。距離・標高差も適度にあり、少し歩き慣れた家族や一般に最適。

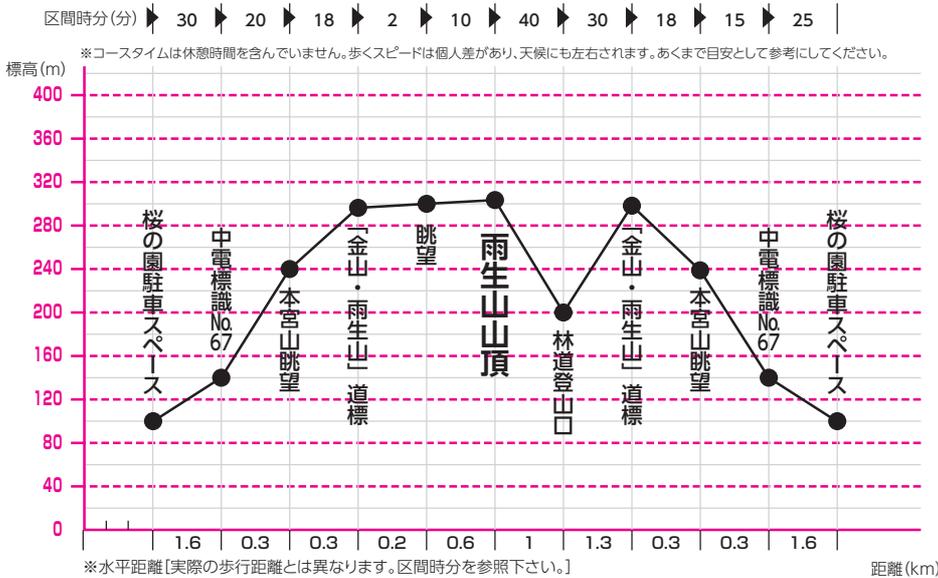


※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平15総復、第568号)

ビューポイント 注意場所

雨生山ふしぎ発見コース

INFORMATION コース情報



登山適期

1月~6月、9月~12月

コースの特徴

雨生山は愛知県新城市と静岡県浜松市の境に位置しています。誰にでも登れる一般・家族向けの登山コースです。

見どころ

低山ながら、浜名湖方面と豊橋方面の眺望をほしのままにできる。●世界の桜の園(お花見におすすめ)●丸山の蛇紋岩植生

携帯電話状況

おおむね良好です。☎

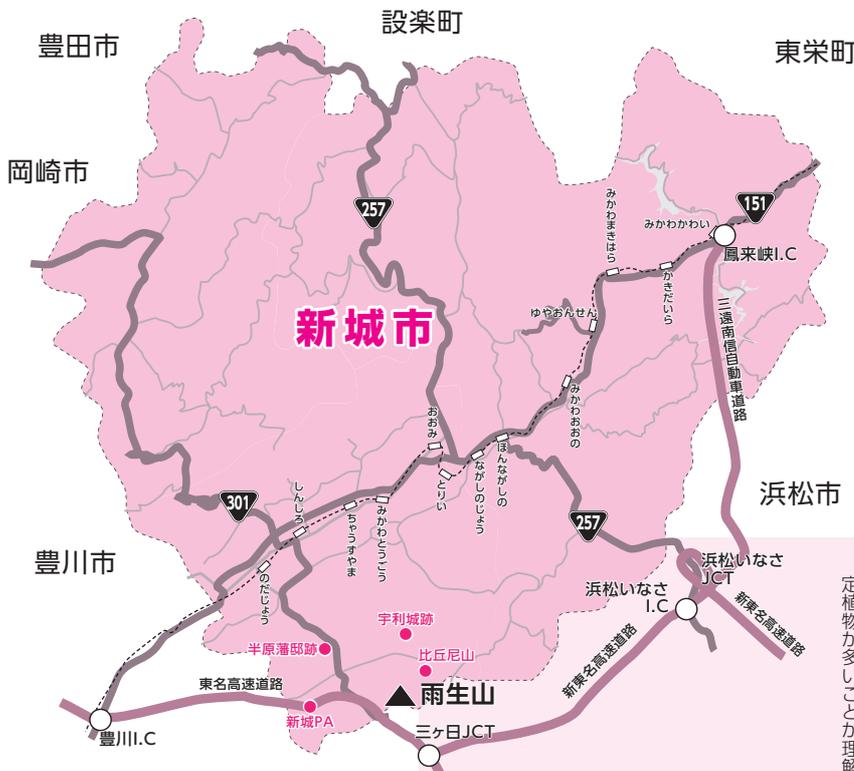
ACCESS 交通アクセス

マイカー

東名豊川I.Cから国道151号→県道381→県道81→世界の桜の園(20分)

公共交通機関

飯田線新城駅 タクシー又はバス中宇利線新城栄町から曾根バス停下車徒歩約1km。(ただし、バスは平日運行のみで1日4便。)



雨生山周辺の立ち寄りスポット

- 比丘尼山**
比丘尼城跡のある標高222mの山。麓には約10,000本の桜が植えられている「世界の桜の園」があります。
- 宇利城跡**
標高160m、北東に谷深く、東に回って三ツ川の用水池に連なる。西側はかつて沼地で搦手といわれ、天然の水濠をなし、北の方から南に張り出した山稜の突端に「宇利城跡」があります。
- 新城PA(東名高速道路)**
お食事処のご利用やお土産品の購入ができます。
- 半原藩邸跡**
半原藩邸の跡地。明治20年に「藩校学聚館」の遺風を受け継ぐ8名高等小学校があったとされる。

いわれ・見どころ

雨生山

光格天皇のころ、日照りが続いて困ったことがあり、宇利の雨引き天神の宝物の二つの面を洗って、村中総出で白山の頂上に運び浜名湖に向けて海神に祈ると、大嵐になりました。このことがあってから白山を雨生山と呼ぶようになりまし。また、子がいらない殿様が吉祥山に祈って子を授かり、その産湯(うぶゆ)にこの山のふもとの泉の水を使ったからだともいわれています。

丸山の蛇紋岩植生

比丘尼城址のある山は蛇紋岩地で成り立っています。蛇紋岩はマグネシウムなどを多く含む岩石であることになり、土壌は未熟で乾燥しやすいという特徴もある。このような性質のため、蛇紋岩地帯には、植物の生育を阻害する成分が強いことになり、その地質に適応した固有の植物種が見られるとうことになり、そのために、比丘尼城址のある山に地域限定植物が多いことが理解できます。

世界の桜の園

学校を定年退職した方が、地元の人達と協力して、世界中の桜の木で山を埋め尽くす壮大な実験の様な場所です。
「日本に3百余種、日本以外の国に百余種がある桜をこの山で咲かせたい」「世界の人々の手でサクラの園をつくりたい」二つの願いを込めて名付けられました。
また、ここには比丘尼城址があります。愛の鐘もあります。

※コースは一部を除きほとんどが登山道となっています。ご利用の際は、事前にコース状況をお問い合わせいただくとともに、ご自身の体調や体力に充分配慮し安全で楽しい登山をお楽しみください。又、火災予防にもご協力ください。

その他お問合せ

- 新城市観光協会 TEL.0536-32-0022 ●ツヅムラタクシー TEL.0536-22-1115 ●カネタタクシー TEL.0536-32-0028
- JR東海テレフォンセンター TEL.050-3772-3910 ●豊鉄バス[新城営業所] TEL.0536-24-1141

●コースのお問合せ **新城市産業・立地部観光課 Tel.0536-32-1985**